

『競輪における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(令和3年2月12日改訂)』 『新型コロナウイルス感染症対策要綱』(2021年2月12日改訂)』 に基づく

競輪開催における 新型コロナウイルス感染拡大防止対策事例集

【競輪競技実施部門】



【競輪競技統括部】

- ◆競輪界では、政府の『新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針』(令和2年3月28日 : 令和3年2月2日変更)(新型コロナウイルス感染症対策本部決定)に基づき策定した『競輪に おける新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン』(令和2年5月29日・令和3年2月 12日改訂)を踏まえ、競輪関係団体で組織する新型コロナウイルス感染症対策本部において策 定した『新型コロナウイルス感染症対策要綱』(2020年6月5日・2021年2月12日改訂)(以下 「対策要綱」という)に基づき、安心で安全な開催を確保するために様々な対策を実施してい ます。
- ◆本資料(略称:競輪コロナウイルス対策事例)は上記『対策要綱』において整理された対策方針に基づき、本財団競技実施部門が開催施行者と連携・協力しながら競輪開催期間中(前検日~最終日)に各競輪場で実施している代表的な事例を取り纏めたものです。

(「対策要綱等の改訂」「対応策の変更」があった場合は該当箇所を更新していきます)

公益財団法人JKA 競輪競技統括部

(公財) JKA 初 版:2020年 8月

目 次

◆対策要綱「10.選手管埋について」(前検日~最終日)
・ 1.マスク着用の徹底・・・・・・・・2
・ 5.競輪場到着時・・・・・・・・・3
- 6.到着後・・・・・・・・・・3
• 7.参加状況申告時 • • • • • • • • 4
・ 8.参加受付(帰郷時も同様)・・・・・5
• 9.選手控室 • • • • • • • • • 6
・10.検車確定検査・・・・・・・・・7
・ 1 1. 身体検査 ・・・・・・・・・9
・12.自由練習(ローラー練習)・・・・・ 10
・ 1 3 .開催式 ・・・・・・・・・・ 1 1
・14.輸送バス ・・・・・・・・・12
・15.入浴 ・・・・・・・・・・・・13
・ 1 6.夕食(朝食・昼食も同様) ・・・・・ 1 4
・ 17.選手宿舎 (居室) ・・・・・・・ 16
• 18.選手宿舎 • • • • • • • • • 17
・19.マッサージ・・・・・・・・・18
・20.就寝時・・・・・・・・・・19
・21.起床時 ・・・・・・・・・・19
・22.発熱者等発生時 ・・・・・・・・20
・23.レース前 ・・・・・・・・・・21
・24.レース後 ・・・・・・・・・・22
・25.トイレ・・・・・・・・・・23
20,19011111111123

・26.直前控室・・・・・・・・・・24
・27.屋内喫煙所・・・・・・・・・25
・28.随時・・・・・・・・・・・・26
・その他・・・・・・・・・・・・・ 29
新型コロナウイルス感染予防ガイドブック
(競輪選手向け)」
3 2

- ◆対策要綱「11.従事者等について」 ・・・・・・・・33
- ◆対策要綱「12.選手取材にあたっての留意事項について」 (報道関係者あて)
- ◆対策要綱「13.取引先等の対応について」 ・・・・・・・・・41

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

1. マスク着用の徹底

- ・食事、入浴、睡眠及びレース出走時以外の常時マスク着用の徹底。
- ・選手の体調面等に影響がある場合、練習時においてマスクを外すことを可能とする。その場合、他の選手と2mを目安(最低1m)距離を確保する。
- ・いかなる場合においても、マスクを外しての会話は厳禁とする。特に練習後、レース後においては、代謝が上がりウイルスが増殖している可能性が高いため会話を控える。どうしても会話をせざるを得ない場合には、他の選手と2mを目安に(最低1m)距離を確保するとともにマスクを着用して短時間の会話に留める。









マスク着用の義務付け(入口・管理エリア内各所にポスター掲示)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

対策要綱 10.選手管理について

- 5. 競輪場到着時 6. 到着後(マスク着用の徹底)
- ・検温及び手帳に記入した過去2週間の体温、行動記録等の確認を行い、37.5 度以上の発熱が続く、かぜ等の症状、過去2週間の体調に問題がある選手は、管理棟内に入れること無く隔離(場内救護室等)し、派遣医師の問診を行う。また、全選手に派遣医師による問診を行い、参加の可否を判断し、参加不可となった場合には、派遣医師が指示する方法で帰郷する。(選手は競走参加予定日の2週間前から同居する家族の体調等についても把握し、記録する。)





管理区域入場前の「検温」



体調に問題がある選手は管理棟外の部屋に隔離



管理区域入場前の 「PCR検査陰性確認」



管理区域入場前の 「健康管理手帳確認」



B	曜	体温	体調管理	行動記録
1	±	. "C	A · B · C	A - B - C
	B	. "C	A - B - C	A - B - C
3	月	. "C	A - B - C	A . B . C
4	火	. "0	A · B · C	A . B . C
5	*	, 'C	A · B · C	A - B - C
6	*	. '0	A - B - C	A - B - C
7	金	. "C	A · B · C	A - B - C
8	±	. "C	A · B · C	A - B - C
	8	. "C	A · B · C	A - B - C
	A.	, "C	A · B · C	A - B - C
11	火	. "C	A · B · C	A · B · C
12	*	σ.	A · B · C	A · B · C
13	*	. "C	A · B · C	A . B . C
14	金	. "C	A · B · C	A - B - C
15	±	. "C	A · B · C	A - B - C
	B	_ 'C	A · B · C	A - B - C

B	S.	体温	体調管理	行動記録
17	Я	. °С	A - B - C	A-B-0
18	×	. с	A · B · C	A - B - C
19	k	υ, Έ	A · B · C	A - B - C
20 :	*	σ .	A · B · C	A-B-0
21	â	σ .	A · B · C	A - B - C
22 :	±	σ.	A · B · C	A - B - C
	B	σ.	A · B · C	A - B - C
24	Ħ	, '0	A - B - C	A - B - C
25	ķ	σ .	A - B - C	A - B - C
26	k	3 %	A - B - C	A - B - C
27 :	k	σ,	A-B-C	A - B - C
28 1	£	. 'C	A-B-C	A - B - C
29 :	±	. "C	A-B-C	A - B - C
30	3	σ.	A-B-C	A · B · C
31	9	. "C	A-B-C	A - B - C

. C A-B-C A-B-C

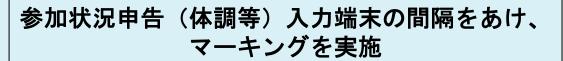


(公財) JKA 初 版:2020年 8月

対策要綱 10.選手管理について

- 7. 参加状況申告時
- ・できる限り2mを目安に(最低1m)間隔を確保する。







参加状況申告(体調等)入力端末位置が近い場合 ビニールシート設置

(公財) JKA 初 版:2020年 8月

対策要綱 10. 選手管理について

- 8. 参加受付(帰郷時も同様)
- ・床へのマーキング(立ち位置表記)を実施する。 (概ね10人分(できる限り2mを目安(最低1m以上))







マーキングの実施

距離確保・飛沫防止シート設置







掲示物

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

9. 選手控室

- ・選手控室に選手が滞留しないよう宿舎居室を積極的に活用する。
- ・選手控室は、原則として、競走準備以外には使用しない。
- ・競走終了後の選手は極力立ち入らないよう別の待機場所の提供を検討する。(会議室、休止中場内施設等)
- ・選手控室を利用する場合には、できる限り2mを目安に(最低1m)距離を確保するよう努め、一定数以上が同時に選手 控室に入らないよう、入場制限(※1)、利用時間をずらすことや選手出身地域別の区割りではなくレース出走順への使 用運用変更などの工夫を行う。特に、スペースの確保や、常時換気(※2)を行うなど、3つの密を防ぐことを徹底する。
- (※1) 選手控室の面積に対し、選手一人の専有面積を4m等のできる限り2mを目安に(最低1m) 距離を確保できる面積で割った数を上限人数とする。
- (※2) 寒冷な場面における換気を適切に行う上では、特に密が発生しやすい場所において、CO2モニター等で換気を確認すること、温度を維持しながら適度な常時換気を行う こと及び加湿器等で適度な湿度を維持する工夫をすることが推奨される。









CO²モニターに よる換気の確認

例:通常の控室(170畳)の外に増設控室(140畳)を確保

掲示物

(公財) JKA 初 版:2020年 8月

10. 検車確定検査

- ・床へのマーキング(立ち位置表記)を実施する。(概ね10人分(できる限り2mを目安(最低1m以上))
- ・可能な限り検査時間の拡大を図る。







マーキングの実施

常時換気

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

10. 検車確定検査

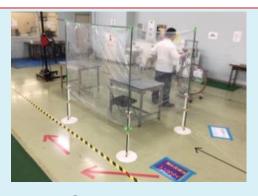
<前検日:選手が確定検査に立会う場合の検査方法(例)※写真はJKA執務員によるリハーサル風景>











①選手はJKA執務員に自転車を渡す (選手はビニールシート左側に進む)

②確定検査 (ビニールシート右側で検査実施)

③検査終了 (自転車を選手に戻す)

<前検日:選手が確定検査に立会わない場合の検査方法(例)>



①車名・ギヤ倍数確認



②選手は自転車組み立て後 スタンドに格納



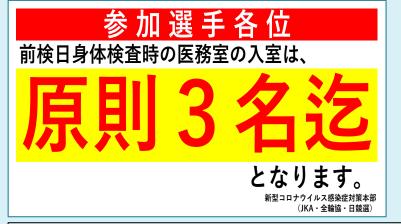


③確定検査 (JKA執務員のみで検査を実施)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

1 1. 身体検査

- ・医務室への入室は原則3名までとする。可能な限り検査時間を拡大する。
- ・落車発生時の同県選手の入室は原則1名とする。
- ・できる限り2mを目安(最低1m以上)に距離を確保するよう努める。





医務室入口 掲示物



医務室前待機時 距離確保





医務室内 入室数制限・ビニールシートの設置 (血圧測定) (問 診)

12. 自由練習(ローラー練習)

- ・練習台設置場所を 1 台おきとする等できる限り 2m を目安に(最低 1m) 間隔を空けることとする。(投票所施設の有効利用も考慮)
- ・練習台の間に飛沫防止のためにアクリル板・透明ビニールシートなどのパーティションを設置するとともに、使用後は 各自で手すり等の消毒を徹底する。また十分な換気(※2)を行う。
- ・頭の位置が互い違いになるように練習台を配置するなどの工夫を行う。



ローラー台は1台おき(頭の位置は互い違い)

各ローラー台に手すり消毒用消毒液設置 飛沫防止シート設置・窓解放で換気徹底 ローラー使用時もマスク着用



掲示物



CO²モニターによる 換気の確認

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

13. 開催式

- ・原則として放送により実施する。
- ・選手は宿舎居室にて待機する。



管理室の放送設備を使用して参加選手に諸事項伝達

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

14. 輸送バス

- ・運転席との間にビニールシート等で仕切りを設置する。
- ・可能な限り増便するとともに、できる限り2mを目安に(最低1m)乗車区分を明確にし、座席間隔を十分に確保の上、 バス内必要か所のアルコール消毒の実施や常時換気を行う等、3つの密を防ぐことを徹底する。



運転席との間に ビニールシート設置



選手は間隔を確保して乗車 ※写真はイメージ



常時換気

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

15. 入浴

- ・サウナの使用禁止、人の距離の確保(できる限り 2m (最低 1m))のための入場制限(※1)、個人用タオル、ブラシ等の持参、会話を控えることを行う。
- ・常時、何人が入浴中であるか分かるような入場制限の体制を構築する。
- ・更衣室、ドライヤー等の備品の消毒、換気強化等を行う。
- ・選手の入浴は黙浴に努める。



浴室入口 掲示物 (人数制限)



入浴人数制限(入口で入浴中の人数が分かる工夫) 脱衣所の距離確保・脱衣籠等備品の消毒



新型コロナウイルス感染症対策の為、

サウナ室閉鎖

となります。 新型コロナウイルス感染症対策本

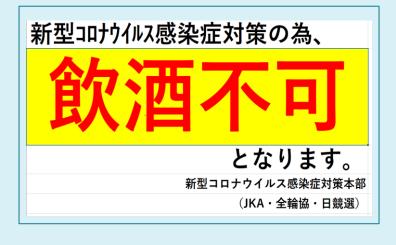
掲示物

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

16. 夕食(朝食・昼食も同様)

- ・食堂の出入口・共有物付近には消毒液を設置し、使用前には必ず手指の消毒を行う。
- ・選手毎(地区毎)に夕食時間を指定する。(15 分以内)
- ・食事中は黙食を徹底し、マスクを外した会話を禁止する。
- ・椅子へのマーキング(×印)によりできる限り2m(最低1m)の距離を確保し、対面で座らないなどの工夫を行い、席間にアクリル板や透明ビニールカーテン等のパーティションを設置する。
- 可能な限りセットメニューとする。ビュッフェ方式で食事を提供する場合には、料理を小皿に盛って提供する、スタッフが料理を取り分ける、選手ひとりひとりに取り分け用のトングやお箸を渡し、使い終わったトングは回収・消毒してトング類を共用しない、ビニール手袋等を使用する等の感染防止策を徹底する。
- ・飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限する。
- ・当分の間飲酒は禁止とする。







(公財) JKA 初 版:2020年 8月

16. 夕食(朝食・昼食も同様)



椅子へのマーキング(対面回避)・飛沫防止シート設置



ビュッフェ方式の場合 ①料理を小皿で提供 (食品をラップでカバー)



ビュッフェ方式の場合 ②スタッフによる取り分け (ビニールシート設置)



掲示物





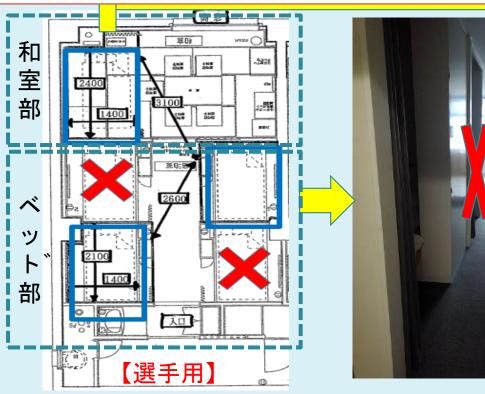
ビュッフェ方式の場合 ③使い捨て手袋の用意(食品をラップでカバー)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月 第3版: 2021年 2月

対策要綱 10.選手管理について

17. 選手宿舎(居室)

- ・可能な限り個室とする。
- ・個室とすることが難しい場合には、専門家の指導に従い、可能な限り同部屋選手数を減らし、かつ、同部屋の選手ができる限り 2m を目安に(最低 1m) 距離を保てるよう、部屋内にパーティション等を設置し、個室に相当する部屋の空間の確保と選手配置について最大限の見直しを行う。また、居室であっても睡眠時以外のマスクの着用、複数での飲食等を行わないことを徹底し、飛沫対策を講じる。※可能であれば分宿対応も検討する。
- ・選手の就寝時を除き、選手が部屋にいる場合において、窓が開く場合には1時間に2回以上、窓を開け換気する、宿舎 全体や部屋の換気に努める。なお、機械換気の場合は窓開放との併用は不要である。





和室部に寝床を追加(カーテン設置)







18. 選手宿舎

選手が多数集まる場所(喫茶コーナー、談話スペース等)の利用を制限する。制限を解除する場合は、ガイドライン5. b. 2)(iv)を遵守する。

【ガイドライン5. 2) (iv)】

・休憩・休息スペースにおける共有物品(テーブル、椅子など)は、定期的に消毒する。選手が休憩・休息スペースを使用する際は、入退室の前後の消毒・手洗いを徹底する。休憩・休息をとる場合には、できる限り2mを目安に(最低1m)距離を確保するよう努め、一定数以上が同時に休憩スペースに入らないよう、入場制限、休憩スペースの追設及び休憩時間をずらすなどの工夫を行う。特に屋内休憩スペースについては、スペースの確保や、常時換気を行うなど、3つの密を防ぐことを徹底する。



喫茶コーナーの利用制限



談話スペースの利用制限

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

19. マッサージ

・当分の間取り止めとする。

新型コナウルス感染症対策の為、

マッサージは取りやめ

となります。

新型コロナウイルス感染症対策本部 (JKA・全輪協・日競選)

掲示物 マッサージ取り止め

(公財) JKA 初 版:2020年 8月

- 20. 就寝時 21. 起床時
- ・就寝前・起床時検温の実施徹底。

検温実施

就寝前・起床時の検温を

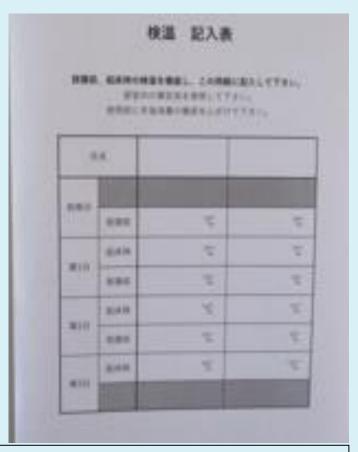
必ず行ってください



新型コロナウイルス感染症対策本部 (JKA・全輪協・日競選)

掲示物 検温実施の徹底





体温計・除菌シート・記入表 選手宿舎各居室に配備

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

22. 発熱者等発生時

・37.5度以上及びかぜ等症状がある者はすぐに管理エリアから隔離し派遣医師の指示に従う。



病院輸送の際に参加選手と接触しない経路で移動可能な部屋を確保

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

23. レース前

- ・控室の換気徹底(ドア開放等) (※2)
- ・選手間の距離の確保(できる限り2m(最低1m))



控室の常時換気







掲示物

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

24. レース後

- ・レース終了選手の自転車・競走車の受取りは、飛沫感染防止の観点から原則行わない。
- ・レース後は息が上がっている状態であり、飛沫により特にウイルスが活性化する可能性が高いためマスクを外しての 会話は厳禁とする。



レース後の選手の自転車受け取り禁止





掲示物

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

25.トイレ

- ガイドライン5. b. 2)(v)を遵守する。
- 【ガイドライン5. b. 2)(v)】
- ・便器は通常の清掃で問題ないが、不特定多数が使用する場所は清拭消毒を行う。
- ・トイレに蓋がある場合、蓋を閉めてから汚物を流すよう表示する。
- ・ハンドドライヤーは利用を止め、共通のタオルは禁止し、ペーパータオルを設置するか、選手に個人用タオルを持参して もらう。







トイレ内 トイレ蓋閉め・ハンドドライヤー使用中止

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

26. 直前控室

- ・選手点呼の際は、発声による点呼は行わず、指差し確認とする。
- ・オープンスペースを使用し、直前控室の滞在を控える。











オープンスペースの使用 出走前控室 換気徹底・距離確保

出走前控室 飛沫防止シート設置 点呼は指差し確認

出走前控室備品 使い捨てペーパータオル

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

27. 屋内喫煙所

・使用しない。



屋内喫煙所の使用禁止



(屋外に喫煙所を設置)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

28. 随 時

・時間毎(例:レース毎)に管理施設全般のアルコール消毒を実施する。消毒できないものは、触れた後の手洗いや手 指消毒を徹底する。



消毒液設置 (検車場)







工具等共用物の消毒励行

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

28. 随時

- ・時間毎(例:レース毎)に管理施設全般のアルコール消毒を実施する。消毒できないものは、触れた後の手洗いや手 指消毒を徹底する。
- ・ゴミはこまめに回収し、鼻水や唾液などがついたゴミがある場合はビニール袋に密閉する。ゴミの回収など清掃作業を行う従事者は、マスクや手袋を着用し、作業後に手洗いを徹底する。
- ・ユニフォームや衣服はこまめに洗濯する。







直前控室の消毒(レース毎)

こまめにゴミを回収(手袋使用)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

- 28. 随時
- ・素手でのハイタッチや握手等を控える。



ハイタッチ・握手禁止 掲示物

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

対策要綱 10. 選手管理について

その他

※上記の他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けるよう積極的対策を実施すること。



選手代表との懇談会 (前検日) 距離確保



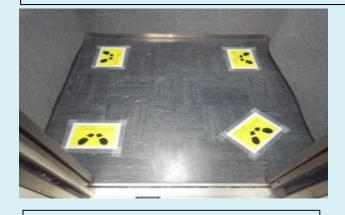
自転車宅配便受付 ビニールカーテン設置



自転車宅配便受付 距離確保



管理棟内売店 ビニールカーテン設置



エレベーター内 定員制限・向き指定



屋内喫煙所の使用禁止



感染疑いのある者の 隔離場所確保

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

その他

※上記の他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けるよう積極的 対策を実施すること。

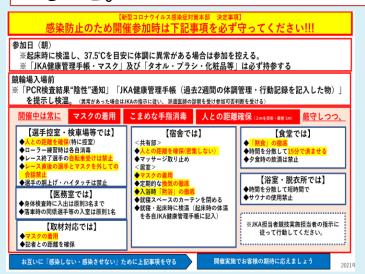


お客様に対する「参加選手の出待ち行為・入り待ち行為の禁止」の告知

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

その他

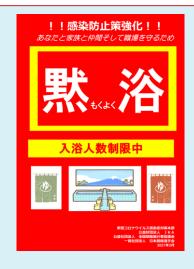
||※上記の他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けるよう積極的 対策を実施す || ること。























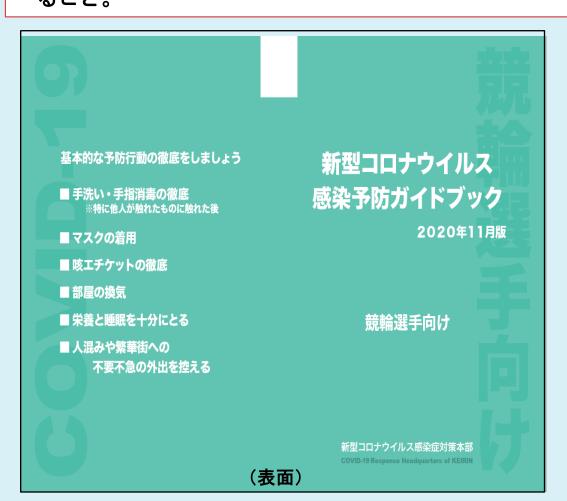
(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

第3版:2021年 2月

「感染防止のための行動」を周知徹底

その他

※上記の他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けるよう積極的対策を実施すること。



新型コロナウイルスについて

感染状況は?

新型コロナウイルスの感染者数・死亡者数については、世界外に急激な着かが見られ、世界保健機関(WHO)は、3月11日、この感染症の拡大がパンデミック(世界流行)と形容される発表しました。 その後も感染は世界的な広がりを見せており、11月2日現在、新型コロナウイルス感染症による日本国内で感染が確認された人は、101、813例となっています。



どうやって感染する?

飛沫感染・・感染者のくしゃみや咳、つばなどによる感染 接触感染・・・ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる感染 5分間の会話で1回の咳と同じくらいの光沫(約3,000個)が飛ぶと言われています。 ※閉鎖した空間で、近距離で多くの人会話するなどの環境では、咳やくしゃみな どの症状がなくても感染をなまさせるリスクがあるとされています。

症状のない人からも感染する?

肺炎などを起こすウイルス感染症の場合は、症 状が機も強、現れる時期に、感染させる可能性 も最も高くなると考えられています。しかし、 新型コロナウイルスでは、症状が明らかになる 前から、感染が広がるおそれがあるとの専門家 の指摘や研究結果も示されています。

出典元:厚生労働省

症状は?

発熱、強いだるさ、せきなど上気速度状かられます。強い対策障害や異態の異常を感じる(ユーラが増進の)炭酸 状に感じられるなど)人もいます。一般のがぜらの炭酸 長引くのが特徴ですが、約8割は軽傷のま変回復します。 また。約2割の人は症状の悪化がみられ肺炎を起こしま す。高熱やせきの性筋が吸出離様は肺炎のサインとして 要注意です。患者の約5%がさらに重慮化し、人工呼吸器 等による菓汁油酸が必要になります。

■ 選手同士の会食や飲み会は行わないこと!

※選手同士以外であっても大人教での会会や飲み会は行わないこと (原族を除く) 食事や飲み会の場での、「3密回避」や「マスク着用」はなかなか難しく、 会話をすることで飛沫が飛んでしまいます。また、お酒が入ると声が 大きくなり、長時間 会話することで感染のリスクも高まります。 感染拡大状況が終息するまでの間は行わないでください。

ナまな出す行動(飲食店等で大事で託す。カラオケウイが)

大声を出す行動(飲食店等で大声で話す、カラオケやイベント、 練習中等で大声をだすなど)を自粛する。

2. 接触確認アプリ等を活用しよう!

「接触確認アプリ」は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある 場合に、通知を受け取ることができるサービスです。

新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) ダウンロードベージへの QR コード







3.「新しい生活様式」を身につけましょう!

自分自身や周りの人、そして地域を感染拡大から守るため、それぞれの日常生活において、自分の生活に合った「新しい生活様式」を実践しましょう。

日常生活

- 毎日の体温・行動チェックを健康管理手帳に記入。
- ・食事は対面ではなく横並びで。
- マスク着用まめに手洗い。
- 列に並ぶときは前後を空ける。
- ・キャッシュレス決済を活用。
- ・公共交通機関は混雑時間帯を避ける。

競輪参加時・帰郷時

・移動する際は、極力単独で行動し、やむを得ず複数で同乗する 場合はお互いに離れた座席を利用しましょう。

競輪参加中

- 必ずマスクを着用しましょう。※特に選手控室内は会話も多いことからマスク着用を徹底しましょう。
- ・管理エリア、選手宿舎 (居室を含め) 内は、ソーシャルディスタンス に気を付けましょう
- ・食事の際は、できるだけ単独もしくは少人数で、対面でなく横並びで、 30分以内を心がけましょう。

参加外練習時

- 参加外の練習は、極力分散して行うこととし、控え場所、 トレーニング場等を利用する場合は、マスク着用の上、 三密を避けるよう細心の注意を払いましょう。
- ・選手同士のコミュニケーションはリモートツールも積極的に 活用しましょう。



(内面)

「新型コロナウイルス感染予防ガイドブック (競輪選手向け) 2020年11月版」 (A4版・二つ折り)

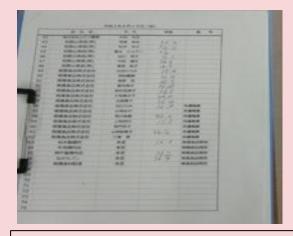
(公財) JKA 第2版: 2020年11月

ガイドライン 5. a 及び b.ii に基づく対応

- ・従事者は、出勤前に、体温や新型コロナウイルス感染症への感染を疑われる症状の有無を確認する。
- ・従事者が、できる限り2mを目安に(最低1m)距離を保てるよう、業務空間と人員配置について最大限の見直しを行う。
- ・従事者に対し、始業時、休憩後を含め、定期的な手洗いを徹底する。
- ・従事者に対し、勤務中のマスクなどの着用を促す(着用していない場合は個別に注意等を行うことも含む)。特に、複数名による共同業務など近距離、接触が不可避な業務工程では、これを徹底する)



執務員等出勤時の検温 (マスク着用)



関係業者来場時検温 記録表(例)



選手宿舎 執務員用居室 に1名



選手宿舎事務室 空スペースに 1名



競輪場内 別スペースに 1名

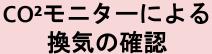
選手宿舎(JKA執務員就寝時 密回避)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

ガイドライン 5. a 及び b.ii に基づく対応

- ・執務室内においては、常時マスクの着用を徹底するとともに、同時に入室する人数に制限をする等密を回避する対策を行うとともに、1時間に2回以上窓を開けるなど十分な換気を行う。※寒冷な場面における換気を適切に行う上では、特に密が発生しやすい場所において、CO2モニター等で換気を確認すること、温度を維持しながら適度な常時換気を行うこと及び加湿器等で適度な湿度を維持する工夫をすることが推奨される。
- ・飛沫感染防止のため、座席配置などは広々と設置する。仕切りのない対面の座席配置は避け、可能な限り対角に配置する、横並びにするなど工夫する(その場合でも最低1mあけるなどの対策を検討する。)。やむを得ず対面の座席配置となる場合や距離が保てない場合は、必ずアクリル板やビニールシートなどで仕切りを設置する。







選手管理室 飛沫防止シート

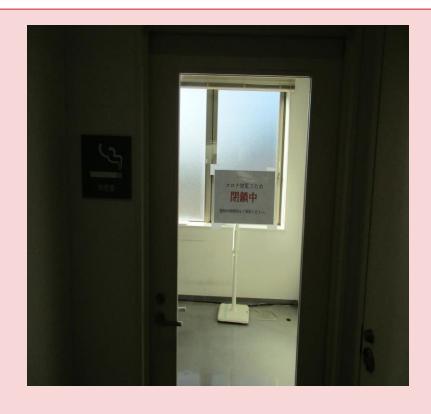


審判室 飛沫防止シート

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

ガイドライン 5. a 及び b.ii に基づく対応

・喫煙を含め、休憩・休息をとる場合には、できる限り2mを目安に(最低1m)距離を確保するよう努め、 一定数以上が同時に休憩スペースに入らないよう、休憩スペースの追設や休憩時間をずらすなどの工夫を 行う。



屋内喫煙所の使用禁止



(屋外に喫煙所を設置)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

- ・取材者の人数については各社で調整の上、最小限の人数でお願い申し上げます。取材をされない営業担当者等のご来場についてはご遠 慮ください。
- ・取材前に検温するなどして体調管理に努め、体調不良(発熱 〔37.5 度以上〕・せき・鼻水・倦怠感・下痢・吐き気等)の方は競輪場・レース場への来場をご遠慮ください。また、過去9日間に発熱(37.5°C以上)のある方についても来場はご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある方、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある方は競輪場への来場をご遠慮ください。
- ・各競輪場の報道受付(【GⅢ以上】)又は守衛所等(F I ・F II)に体温計を用意いたします。前検日から最終日まで、入場時に担当者が立会って検温を実施いたしますのでご協力お願いします。(※早朝時の開門前などは自主検温にてお願いします。)
- ・検温により体温が 37.5 度未満であることが確認されましたら検温証明証をお渡しいたしますので、終日着用をお願いいたします。(毎日発行)
- ・あわせて、コロナウイルス拡大防止のため、健康状況の確認表の記入にご協力お願いします。
- ・37.5 度以上の発熱がある方は、競輪場から退出していただきますのでご了承をお願いいたします。
- ・手洗い・うがい・咳エチケットの励行、消毒液による手指消毒をこまめに実施してください。
- ・選手取材にあたってはマスク着用を義務化いたします(※マスクは各自でご用意ください。)。

なお、マスクを着用していない方の選手管理エリアへの立入りは固くお断りいたします。記者席内においてもマスク着用を励行といたしますが、GIII以上の開催に関しては、取材者が多いことから、マスク着用をお願いいたします。※夏季期間において、熱中症のリスクがある場合を除く。

- ・取材時は、選手と一定の距離(2m程度)あけてください。取材可能エリアにおいて、選手の立ち位置及び取材者の立ち位置を明示いたしますので、指定された場所での取材をお願いいたします。
- ・選手と接する時間が長時間に亘らないよう行ってください。また、取材目的以外の選手とのコミュニケ―ションは控えていただくよう お願いいたします。
- ・囲み取材は2名以内(GP・GI・GⅡ・GⅢ開催等については3名以内)で実施するようお願いいたします。取材者間で密着・密集しないようにご注意下さい。
- ・検車場など選手管理エリアへの入場人数を制限する場合もございますのでご協力お願いいたします。
- ・共同インタビューについては、屋外若しくはそれに準じた場所で行います。
- ・記者席内の換気をこまめに行ってください。※1時間に2回
- ※寒冷な場面における換気を適切に行う上では、特に密が発生しやすい場所において、CO2モニター等で換気を確認すること、温度を維持しながら適度な常時換気を行うこと、加湿器等で適度な湿度を維持する工夫をすることも推奨される。
- ・選手もマスク着用してインタビューを受けますのでご了承ください。
- ・選手胴上げについては、感染リスク防止の観点から行いません。
- ・開催中の取材全般につきましては、JKA競技実施担当者の指示に従ってください。
- ※なお、本留意事項は新型コロナウイルス感染症の感染状況により、随時見直しを行っていきます。

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月



報道関係者受付 入門前検温



健康状況確認表の記入

当開催につきましては、

新型コロナウィルス感染症防止の為、取材記者の 人数を制限しております。

記者クラブの会員・準会員であっても、当開催の 取材者リストに名前がない方の入室は、ご遠慮いた だきます様、お願い致します。

報道事務局



受付確認後配布物

健康確認表

(競輪場入場申告)

30日間保存

2020年 月 日

・現在、発熱(37.5℃以上)せき、鼻水、倦怠感、下痢、吐き気等の症状はありませんか?

□症状はない □症状がある

·本日より過去9日間に発熱(37.5℃以上)はありませんか?

□発熱はない □発熱があっか

新型コロナウイルスの「感染者」または「濃厚接触者」となっていますか?

□なっていない □なっている

・マスクは持参していますか? (取材時のマスク着用は義務化されております)

□持参している □持参していない

入場する場所をすべて〇で囲んでください

□記者席 □選手管理地区 □その他(

氏名(署名)

社名

連絡先等

※本規輪場において、関係者・取材者等に新型コロナウイルス感染者が発生した場合に 連絡させていたださます。

検温実施結果

°C

健康状況確認表



鉛筆は使用前・後で区分 使用済は消毒









検温証明証 (毎日発行)

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月





記者席 距離確保



記者席 マスク・消毒液配備



インタビュー室での取材 常時換気・人数制限



飛沫防止シート越しでの取材

(公財) JKA 初 版:2020年 8月

対策要綱 12. 選手取材にあたっての留意事項(報道関係者あて)

前検日・開催中



【共同インタビュー】 屋外・距離確保・ビニールシート設置(選手座席前)



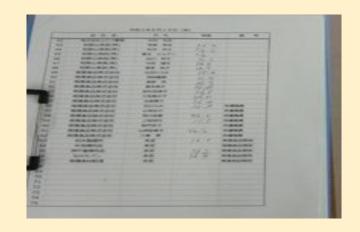
インタビュー終了毎にマイク・ 椅子等、選手が使用した備品 を消毒



番組表の掲示 屋外

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月

- ・立入りの人数については、最小限の人数で依頼する。
- ・体調管理に努め、体調不良(熱が 37.5度以上・せき・鼻水・倦怠感・下痢・吐き気等)の場合は、立ち入りを認めない。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限、 入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合は、 立ち入りを認めない。
- ・立入り時には、担当者が立会って検温を実施する。
- ・立入り時には、マスクを必ず着用する。
- ・日頃からの石鹸による手洗い・手指のアルコールによる消毒・うがい・咳エチケットを励行する。
- ・人との間隔は、できる限り2mを目安に(最低1m)空けるよう努める。



関係業者来場時検温記録表 (例)



自転車宅配便受付 間隔確保・ビニールシート設置・マスク着用

(公財) JKA 初 版: 2020年 8月